



追加型投信 / 内外 / 株式

ワールド・ビューティー・オープン  
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)  
決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料  
データ基準日: 2018年6月11日

平素は「ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」をご愛顧いただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2018年6月11日に第2期(2017年12月12日～2018年6月11日)の決算を迎え、当期の分配金(1万口当たり、税引前)を「為替ヘッジあり」は766円、「為替ヘッジなし」は582円といたしましたことをご報告いたします。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2018年6月11日)

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
分配金 (1万口当たり、税引前)	766円	582円
基準価額 (1万口当たり、分配落ち後)	10,000円	10,001円

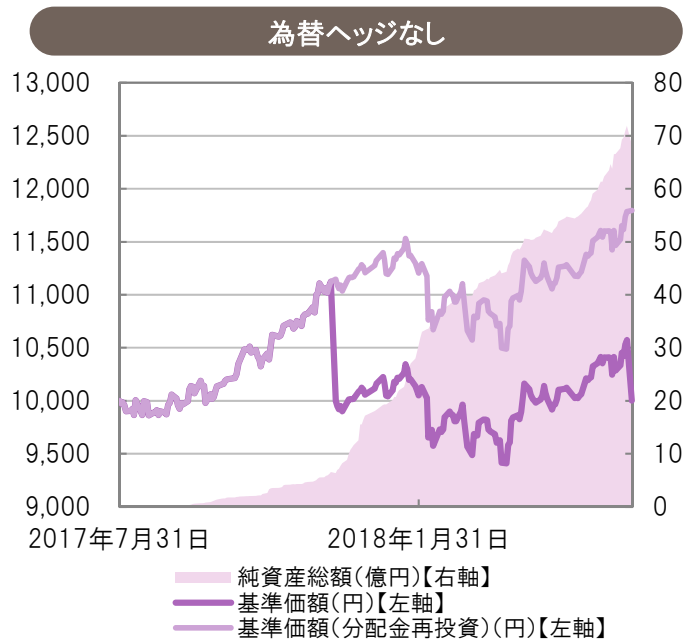
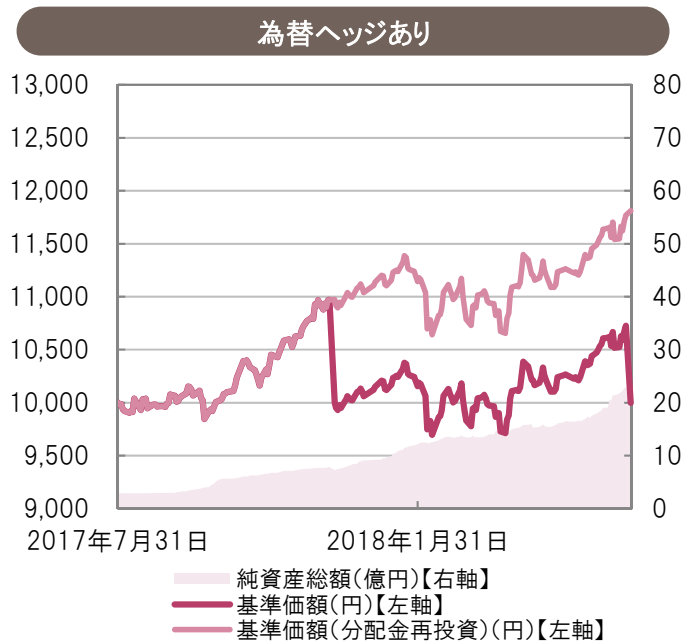
【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

為替ヘッジあり		
第1期 (2017年12月)	第2期 (2018年6月)	設定来累計
973円	766円	1,739円

為替ヘッジなし		
第1期 (2017年12月)	第2期 (2018年6月)	設定来累計
1,147円	582円	1,729円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額の推移(期間: 2017年7月31日(設定日)～2018年6月11日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。  
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 運用担当者へ聞く、設定来の運用実績の上昇要因

## 4つのキーワード

## 「中国」、「高級化粧品」、「スキンケア」、「素材」

好調な高価格帯の化粧品や中国を含むアジア市場の成長による業績拡大が上昇要因となりました。

技術革新によって生まれたしわ改善など、機能性を強化した高価格帯の化粧品が好調だったほか、所得の増加によって化粧人口の増加が続くアジア市場での業績拡大が組入企業の株価を押し上げました。

また、スキンケアやトラベルリテール(免税店)など収益性が高い事業が拡大したことも業績拡大に繋がりました。

化粧品メーカーは原料等を基に商品を作って販売しているため、化粧品メーカーの業績が伸びると、素材関連企業にも恩恵が見込まれます。

今後も先進国での高齢化の進行に伴うアンチエイジング需要、新興国での所得増加による化粧品の普及等の社会構造の変化による中長期での持続的な成長が見込まれると考えています。



三菱UFJ国際投信  
株式運用部海外株式グループ  
シニアマネジャー  
加藤 明

## 組入上位5銘柄

組入比率(2018年5月31日時点)

株価騰落率(期間:2017年7月31日(設定日)~2018年5月31日)

	銘柄名	国名	(為替ヘッジあり) 組入比率	(為替ヘッジなし) 組入比率	株価騰落率	着目点
1	資生堂	日本	7.5%	7.5%	122%	過去最高の売上・利益を大幅更新 大胆なマーケティング投資と構造改革で新たなステージへ
2	エスティローダー	アメリカ	7.0%	7.0%	53%	免税店、ネット通販、アジアの売上が好調
3	コーセー	日本	5.2%	5.2%	95%	売上高は5期連続、営業利益は4期連続で過去最高を更新
4	ロレアル	フランス	4.9%	4.9%	20%	特に、アジアで高価格帯商品群のL'Oréal Luxeが好調
5	ポーラ・オルビスホールディングス	日本	4.7%	4.7%	78%	リンクルショットがヒット商品として社会現象化・多数の外部評価受賞 8期連続の連結増収・営業増益、過去最高益を達成

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・「組入上位5銘柄」の比率は純資産総額に対する割合です。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
- ・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。
- ・着目点は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

【GICS(世界産業分類基準)について】Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■上記は組入銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の注目点

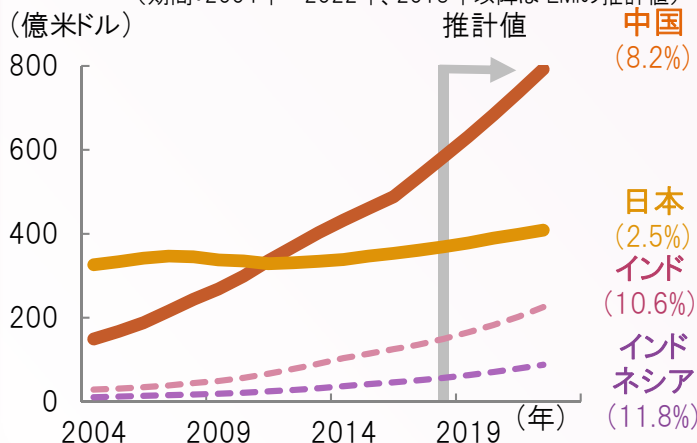
1

中国

## アジア最大の市場規模を誇り、 今後も成長が期待される中国

### アジアのビューティー市場の推移

(期間:2004年~2022年、2018年以降は EMIの推計値)



(出所)ユーロモニター・インターナショナル(以下、EMI)のデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
・グラフ右の()の中は、2017~2022年の予想成長率(年率)

世界のビューティー市場全体の  
30%以上を占めるアジアで、  
最大の市場規模を誇るのが中国

中国のミレニアル世代の人口は  
アジア全体の約30%

### アジアの人口 (2018年度推計値)

(万人)

	全人口	ミレニアル世代 の人口
中国	138,469	43,244
インド	129,683	44,346
インドネシア	26,279	8,666
(ご参考)日本	12,617	2,785
(ご参考)韓国	5,142	1,494

日本の約15倍

(出所)United States Census Bureauのデータを基に  
三菱UFJ国際投信作成

・本資料では1980年~2000年に生まれた世代を「ミレニアル世代」と定義しています。

- 中国のミレニアル世代は“一人っ子政策”の中で生まれた世代であり、その影響もあって大切に育てられてきました。そのため、親世代とは異なり品質を重視し、買うなら一番良いものを買おうとする傾向が強くなっています。その結果、欧米や日本製の高品質で安心感のある化粧品の需要が拡大し、日本を大きく上回る市場の成長が期待されています。
- さらに、中国では化粧をすることが一般的になってきたことを踏まえて、政府側も一般的な化粧品の消費税率を0%とするなど、市場拡大を後押しするような税体系の変更を行っています。
- これらの需要は、訪日外国人旅行者を対象とした小売事業で機内販売や空港免税店などの販売、リピート購買を通じてビューティー関連企業への大きな恩恵となっています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の注目点

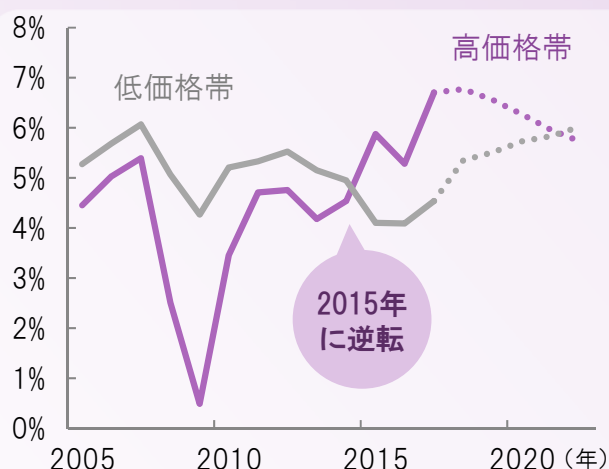
2

## 高級化粧品

世界のビューティー市場において  
人気が高まる「高価格帯」の化粧品

## 化粧品・価格帯別の売上高伸び率の推移

(期間:2005年~2022年、2017年以降は EMIの推計値)



2015年以降、  
世界経済が堅調なことから  
「高価格帯」の化粧品の売りが好調

(出所)EMI、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
・EMIによる分類「マス」「プレミアム」をそれぞれ「低価格帯」「高価格帯」としています。

- 世界のビューティー市場では、リーマンショック以降、賃金の低下などを背景に低価格帯商品の売上高伸び率が高価格帯商品を上回っていたものの、2015年以降、そのトレンドが逆転しました。高価格帯優位の動きが2021年頃まで続くと予想されています。
- 特に中国市場での品質重視の傾向、訪日観光客の増加は、高価格帯商品の好調さを支えると考えています。
- また、先進国での高齢化進展によるアンチエイジング需要拡大は、機能性の高い高価格帯が選好されやすい市場環境を作り出しています。このように高価格帯が優位な状況は、少なくとも今後数年間は継続することが見込まれています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の注目点

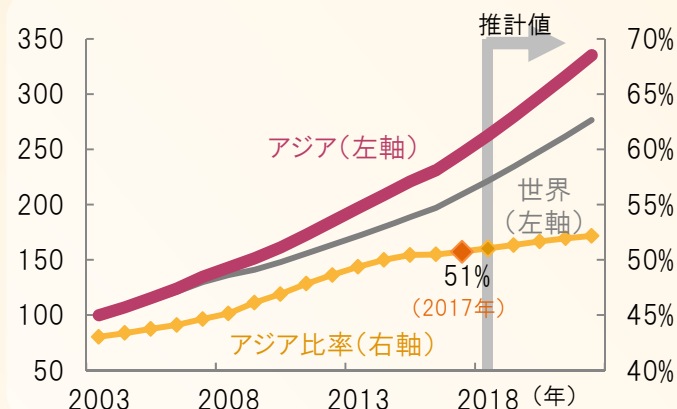
3

## スキンケア

## 基礎的な化粧品であることから 需要のブレが見られにくい「スキンケア市場」

### ■ スキンケア市場の伸びとアジア比率の推移

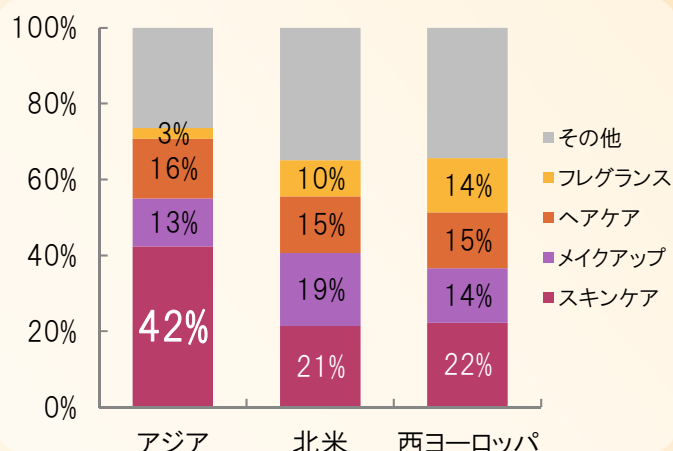
(期間:2003年~2022年、2018年以降は EMIの推計値)



(出所)EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
・アジア、世界のスキンケア市場の伸びは2003年=100として指数化

### 世界の「スキンケア市場」の 50%以上を占めるアジア

### ■ アジア・北米・西ヨーロッパのビューティー市場 の内訳(2017年)



(出所)EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
・分類はEMIによります。

### アジアのビューティー市場の 40%以上を占める 「スキンケア商品」

- 成長が続くアジア市場では、文化的な背景から他の地域と比較してスキンケア商品を重視する傾向があり、市場全体に占めるスキンケアの割合は欧米の約2倍の42%となっています。そのため、アジアのビューティー市場が大きくなれば、スキンケア商品需要の拡大に繋がると考えています。
- さらに、欧米では20代や30代を中心に肌本来の美しさを重視するナチュラル志向が高まっており、これらの傾向もスキンケア市場のサポート要因となっています。
- 当ファンドでは、このスキンケア市場の伸びを享受すべく、「ニベア」などの商品で知られる“バイヤスドルフ”に着目しています。当ファンドでは、同銘柄の組み入れを、2017年8月末の18位から2018年5月末には6位まで引き上げています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。■ 上記は組入銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の注目点

4

## 素材

ビューティー産業の川上企業である  
美を支える「素材関連企業」に注目

クローダ・インターナショナルのビジネスイメージ

クローダ・  
インターナショナル

原料等を販売

・ロレアル・花王  
・資生堂・ヘンケル  
・エスティ ローダー

商品を作って販売

参入障壁が高いというのも  
「素材関連企業」の特徴のひとつ

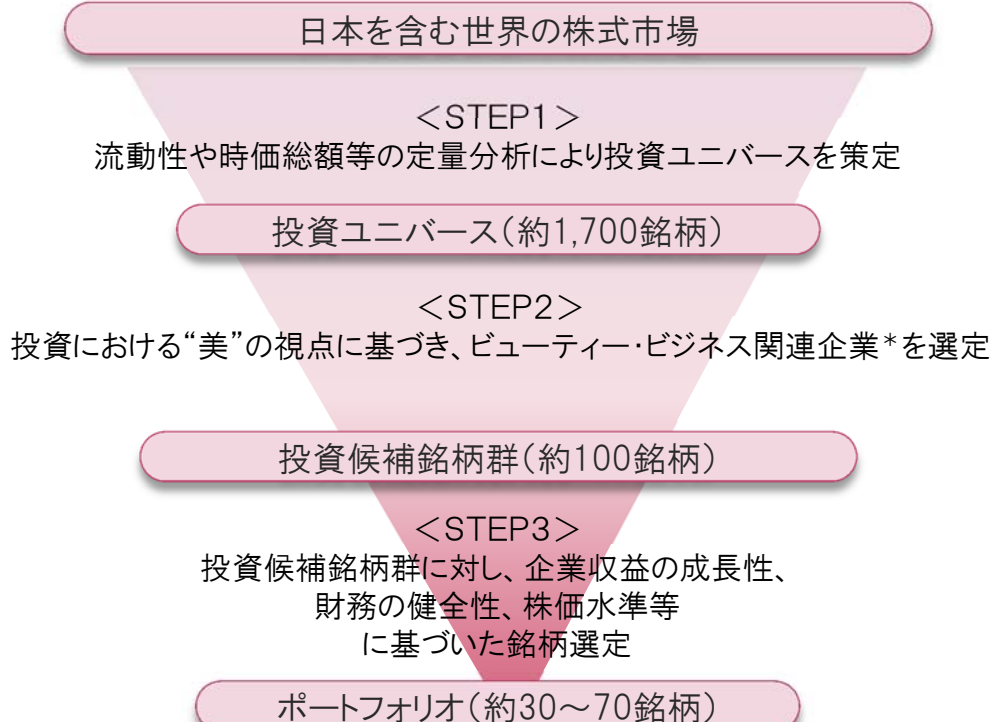
・クローダ・インターナショナルの販売先についてBloombergが公開書類や決算資料、プレスリリースなどを基に予測したものであり、実際とは異なる場合があります。

- 当ファンドは本来の美しさをより際立たせて表現する「魅せる」、「磨く」の銘柄以外にもビューティー市場を「支える」特徴のある銘柄の組み入れを行っています。
- たとえば、組入比率7位のクローダ・インターナショナルは、ロレアルや資生堂に原料等を販売し、化粧品メーカーはその原料等を基に商品を作って販売しています。
- そのため、これらの化粧品メーカーの業績が伸びると、素材関連企業にも恩恵があります。一方で素材関連企業は化粧品メーカーと比べて、広告宣伝費の負担が低く抑えられているため、化粧品メーカーよりも、相対的に営業利益率が高い傾向があります。
- 素材を製造するにあたって設備投資が必要であることや、その製造プロセスには独自のノウハウが必要なため、参入障壁が高く、競争環境も安定しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 上記は組入銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 運用プロセス



\*ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。

・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

## 投資における“美”の視点



## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

### ファンドの目的・特色

#### ■ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

#### ■ファンドの特色

**特色1 日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を主要投資対象とします。**

・当ファンドにおいて、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。

#### 【投資における“美”の視点】

魅せる…本来の美しさをより際立たせて表現する“魅せる”という視点  
(メイキャップ・フレグランスなど)

磨く…本来の美しさを維持・向上させる“磨く”という視点  
(スキンケア・ヘアケア・オーラルケア・サプリメント・美容機器など)

支える…新たな美しさの研究やサービスの提供など、様々な角度から美を“支える”という視点  
(研究開発・美容情報サービス・化粧品販売チェーン・医療機器・アンダーウェアなど)

**特色2 株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。**

・投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行います。

**特色3 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。**

・(為替ヘッジあり)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他通貨による代替ヘッジを行う場合があります。

・(為替ヘッジなし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

**特色4 年2回の決算時(6・12月の各9日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。**

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

#### ■ファンドの仕組み

・運用はワールド・ビューティー・マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式へ投資するファミリーファンド方式により運用を行います。

※各ファンド間でのスイッチングが可能です。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。

スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。

くわしくは販売会社にご確認ください。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**



## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
特定の テーマに 沿った銘柄 に投資する リスク	当ファンドは、特定のテーマ(ビューティー・ビジネス関連企業の株式)に沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。 また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べて当ファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。
為替変動 リスク	<p>■ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)</p> <p>組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。その場合、為替ヘッジ効果が得られない可能性や、円と当該通貨との為替変動の影響を受ける可能性があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。</p> <p>■ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。</p>
信用 リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性 リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。
カントリー・ リスク	ファンドは、新興国の株式に投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

#### ■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

### 手続・手数料等

#### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	各ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
スイッチング	各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	2027年6月9日まで(2017年7月31日設定)
繰上償還	各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年6・12月の9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

### 手続・手数料等

#### ■ファンドの費用

##### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3.00%)**(販売会社が定めます)  
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

##### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 各ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.7712%(税抜 年率1.6400%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても各ファンドが負担します。  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。  
なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

#### ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

#### ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

ファンド名称: ワールド・ビューティー・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社 阿波銀行(為替ヘッジありのみ取扱)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社 沖縄銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社 京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社 高知銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第8号	○			
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社 十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社 常陽銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○	
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社 大光銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第61号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社 福島銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社 北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○			
埼玉縣信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第202号	○			